

中津市民病院化学療法レジメン

【レジメンNo】S-G14

申請日	2016/1/27	承認日	2016/1/28	委員長	印
レジメン登録	2023/10/1	仮承認日	2016/1/28	承認者	印

CapeOX(Adjuvant) 療法	病名	胃癌	外科	提出医	Dr
---------------------	----	----	----	-----	----

対象	HER2陰性のStageⅢの胃癌(D2郭清) 術後補助化学療法
-----------	---------------------------------

薬剤商品名 (一般名)	投与量 (mg/m ² 等)	投与方法 (div.iv.po等)	投与スケジュール(日)																			
			1	5	8	10	15	20	22	25...	35											
オキサリプラチン	130mg/m ²	div	○																			
カペシタビン	※	po(朝)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	※	po(夕)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

投与間隔・休薬期間等: 21日=1コース
6ヶ月(計8コース)

【投与処方例(前投薬など)】

- *手足症候群予防として、保湿剤を処方すること。
- *オキサリプラチン投与中は温罨法を行う。

- ① メインキープ【緑】生理食塩液250mL / div
- ② メイン【赤-1】5%ブドウ糖液100mL+アロカリス1V+パロノセトロン1V+デキサート4mg /div 30分
- ③ メイン【赤-2】5%ブドウ糖液500mL+オキサリプラチン+デキサート4mg /div 2時間

制吐剤セット処方④
Day2.3 デカドロン錠4mg 1錠(分1 朝食後)

*腎機能低下時の減量方法については、クレアチンクリアランスに応じて、カペシタビンの投与量を変更すること

Ccr30~50mL/min 75%Dose

Ccr30未満は禁忌

※カペシタビンの内服量 2000mg/m²/Day

血液毒性・非血液毒性発現時の休薬・減量・再開基準を参考にする。

体表面積	1回用量※	1段階減量	2段階減量
~<1.36m ²	1,200mg(4錠)	900mg(3錠)	600mg(2錠)
1.36m ² ≦~<1.41m ²	1,500mg(5錠)		
1.41m ² ≦~<1.51m ²			
1.51m ² ≦~<1.66m ²		1,200mg(4錠)	
1.66m ² ≦~<1.81m ²		900mg(3錠)	
1.81m ² ≦~<1.96m ²			
1.96m ² ≦~<2.11m ²	2,100mg(7錠)	1,500mg(5錠)	1200mg(4錠)
2.11m ² ≦~			

提出文献：CLASSIC試験

Lancet Oncol. 2014 Nov; 15 (12): 1389-96